

平成 20 年 身近な野生生物の観察事業準備会 議事要旨

日時：平成 20 年 8 月 1 日（金）10：00～16：00

場所：麻布台セミナーハウス 中研修室

出席委員：青山 博昭、井口 泰泉、斉藤 秀生、戸田 光彦、福井 行雄 敬称略

参加クラブ代表者：23 団体中 11 団体出席

環境省：萩原 辰男、阿部 奈緒子、藤澤 淳子

事務局：山下 厚志、大西 亮真、田代 幸子

議題：

1. 野生生物の観察事業主旨説明
2. 指導委員による研究の御紹介
3. 参加団体による活動の御紹介
4. 観察調査方法説明及び連絡事項
5. 観察調査について質疑応答
6. 指導委員からのアドバイス

(資料一覧)

- | | |
|------|--|
| 資料 1 | 観察指導委員名簿及び環境省・事務局名簿 |
| 資料 2 | 観察事業参加団体名簿 |
| 資料 3 | ExTEND2005 における身近な野生生物の観察事業について |
| 資料 4 | 調査書類 4 -1 < 身近な野生生物の観察実施要領 >
4 -2 < 事前計画 >
4 -3 < 報告書用原稿 >
4 -4 < 報告書原稿記入例 >
4 -5 < レポート用紙 ・ >
4 -6 < アンケート用紙 > |
| 参考 1 | 身近な野生生物の観察のてびき |
| 参考 2 | かんたん化学物質ガイド |
| 参考 3 | メーリングリスト開設のご案内 |
| 参考 4 | スポーツ安全保険案内パンフレット |
| 参考 5 | 熱中症環境保健マニュアル |
| 参考 6 | 紫外線環境保健マニュアル |
| 参考 7 | 平成 19 年度身近な野生生物の観察報告書
昨年度未参加団体のみ。昨年度参加団体は会議後回収いたします。 |
| その他 | ：参加団体からの提供資料。 |

観察調査Q & A

Q. 外来生物の駆除作業はすべきなのか。また、どのように行うのが適切か？

A. (委員) 外来生物法律では、飼養、運搬、保管、輸出入などを禁止している。特定外来生物は日本の生態系に対する被害が大きいために指定されているのであり、自然遷移に任せるのではなく、理念としては、当然ながら日本にいない方が良い。しかし、教育上人道的な配慮を怠らず、動物に苦痛を与えない方法を皆で考えることは必要である。また、一番の原因は、人間の勝手な行動によるものであり、そういった行動によって駆除が必要になっていること等を理解した上で、有効な仕組みや方法を考え、防除していかなければならない。

Q 駆除だけでなく、観察調査の際に偶然に捕獲してしまった場合、自然動物園などで展示する方法もあるかと思うがいかがか。

A. (委員) 展示する場合、法的手続きを行う必要があるなので、十分に注意して欲しい。

Q. 当事業において団体の観察調査において、化学物質との関連を子ども達に示唆すべきなのか、自由に観察してよいのか、留意すべき地域ごとの場所、生き物などがあるのか。

A. (環境省) 本事業で重要と考えていることは、まず第一に身近な自然に親しんでいただくことである。また、決まった生物が良いのか否かであるが、特定の生物に着目するというのも一つかもしれないが、特に一つの生き物に特化せず変化を見つけていく、第一の事業趣旨である自然に親しむという観点からも、自由に観察調査することの方が良いと思う。また、変化を知るためにも、ある程度同じ場所で継続的な調査をすることが一つの重要な視点と思う。

A. (委員): 環境省内の他の局でも、いろいろな自然観察事業が行われており、他の部局との差別化を図る必要もあろうが、この事業に参加して下さる方々に「化学物質の影響を調べるために」という意識を強める必要はなく、自然観察を自由に行ってもらい、何か異常が見つかったら専門家とコミュニケーションを取るというスタンスで良いであろう。

Q. . 野生の委員の御指導アドバイスはどの程度いただけるのか。また、水質調査について、パケット以外で、科学的に調べることができる方法はあるか。

A. (委員): (アドバイス等で使用する)メーリングリストはセキュリティの関係で添付ファイルが使えないため、全てでなくとも、報告書に掲載する写真については事務局に送っていただければ、それを委員が見ることは可能である。種の同定などの方法は写真しかないと思われる。また、特に報告書に掲載するような写真については、事前にお送りいただいた方が良さそう。

A. (事務局): 先生方もお忙しいと思われるので、まずは書物や地域の専門家等に確認をお願いし、それでも不明な場合は、事務局に問い合わせいただきたい。

A. (委員): 水の分析については、色々方法はあるが高額なものが多くある。いつも観察している場所で見られている生物種が急にいなくなる等の変化があれば、農協等に相談して欲しい。農薬散布等の情報を得たうえで、こちらのネットワークを使って絞り込むことにより効率良く調査にかかれるので、そのような対応をしていただければと思う。

Q. : フクロウのペリットを調べている場合、食べられた生物の頭骨がないと種の同定は難しいか？

A. (委員): 化石分析を行っている生物学者でも、推測は多く、おそらく頭骨がきちんと出れば同定できるであろうが、実際は難しい。むしろ、そのフクロウの行動圏にどのような種がいるのかという、種のリストがきちんとできているかということが大事である。フクロウは雑食で、ペリットから全ての種を同定するのは限界があり難しい。あまり神経質にならなくて良いのではないかと思う。

指導委員からの注意点・アドバイス

・まずは、普通でないことがあればそういった話を聞かせて欲しい。こちらは、アドバイスというより、一緒に考えるという対等なスタンスでやっていけたらと思う。

・悪者探しをするというスタンスは楽しくないし、化学物質の影響かどうかは頭になくてもいいと思う。将来のある子供たちに生き物は楽しいというものを提供できれば、充分本事業の目的は達成できるのではないか。化学物質の影響は外で見てわかることはほぼなく、突然数が減ったとか、増えたとか、また回復した等、なるべく継続して観察していただくのが一番良いと思う。

・みずさわエコキッズのように、行政の人とうまくやる方法は支援等があるので大事だと思う。活動している人たちが行政を巻き込む時に、どういう言い方をすれば行政が動くかということも今後参考にして活動にいかしてみてもどうか。

・海外での発表時に、日本の子ども達が、日本の風習や文化、自然、生物等を語る機会があると思うので、海外の子ども達と同じレベルで対等に会話できるようになってもらえるくらい、自分の国について知ってもらえれば良いと思う。

・環境省にお願いであるが、来年も実施するのであれば、この準備会は、夏休み前、遅くとも7月の初旬には開催されると団体の皆さんもやりやすいと思う。

・珍しい生きものが生息していることは、その生きものを誰かが観察し、情報化して初めて世間に伝わる。子ども達のナチュラルヒストリー離れ、理科離れ等はとても深刻である。職業的な専門家でなくとも、あるテーマをもって、地域の自然をある程度専門性を持って見ている人材がこれからの日本では非常に重要であり、その大事なことが意外と認識されていない。その重要な部分で第一線を担っているという認識を持って活動を行っていただきたい。

・教育に携わる者としてお願いなのだが、何か一つの生き物を一生懸命に観ているときにどうか声をかけずに、それを観ているこどもを中断させず、納得のいくまで集中して観察・実験をさせてあげて欲しい。また、すべての生物には同じ種類の生物であっても、「個体差」がある。飼育実験等をする場合には、そういうところまでぐっと見つめることで新たな発見がある。このように、日常の生きものの生活をしっかり、じっくり見ていかないと、自然界に起こりつつある異変・異常に気がつくことはできない。研究・観察の「結果」も大切だが（本事業のあり方としても）「生きもの好きを育てる」という視点は忘れないでいただきたい。

団体名簿

団体名	人数		団体所在地	団体紹介	
	参加者合計	大人			
1	子どもエコクラブくしろ	12	2	北海道釧路市	郷土にある釧路湿原や地域の身近な自然に直接ふれ、自然と資源を大切に育むことを目的に釧路市内の小学生が集まり1996年に釧路市で最初に発足したクラブです。子どもたちの視点で自然をとらえながら環境問題を考え、日々の暮らしを見直す中で、地球温暖化防止対策などの取り組みに繋がってあろう様々な「エコロジカルアクション」を実施しています。
2	みずさわエコキッズ	40	3	岩手県奥州市	自治体(奥州市)が募集したクラブです。活動は、6年目を迎えています。今年は、小学1年生から中学1年生まで37人の登録がありました。豊かな自然がたくさん残っている市内小黒石地区や高清水地区を活動フィールドに、農業体験、自然体験、林業体験を通じて身近な環境について学習しています。
3	リボン&パンジー子どもエコクラブ	5	2	東京都渋谷区	同じ保育園だったお友達やその姉妹で構成しているクラブです。近隣の公園では自然に親しむ活動やいきもの(トンボ・カエル・アリ・クモ・ヤモリ・チョウなど)観察を行い、定期的に近隣の都市公園(代々木公園、明治神宮北参道周辺)や教育園(目黒自然教育園)に向向いて、樹木・植物や昆虫、野鳥の観察を行っています。昨年度はじめてばかりですが、今年はもう少しがんばって同じ場所でも継続的に観察し、観察報告にとりくみたいと思います。なお、今年は自宅でもスズメの飼育を行って生きものとのふれあいを深める活動を行っています。
4	～えどがわ自遊楽校～みずとみどりの寺子屋	50	20	東京都江戸川区	2002年に行われた「全国川サミットinえどがわ」に集った老若男女が「豊かだった江戸川河川敷の復活」の為に「すべての命に優しいビオトープ創造」を目指して立ち上がった市民団体。6年越しの夢が叶い7月12日に「篠崎ビオトープ」の第一期が完成した。大人も子供も一緒に足元の自然に親しもうが会の主たる目的で、野草を取って食す「自然のめぐみいただきます」や旧用水路跡での「カサガサ生き物探検隊」・「夜の鳴く虫探検」等の生き物調査体験、里川である都市河川の江戸川を身近にと「手作り筏」体験など、親子で楽しみながら「気づこうとすれば私たちの周りには多くの命が息づいていて、人間だけが特別ではなく、周りの様々な命と繋がりが合っている」ことへの「気づき」を大切に活動を心がけている。東京都自然保護団体 - 登録団体
5	武蔵野エコクラブ	15	10	東京都武蔵野市	武蔵野エコクラブは、始め東京都の緑のボランティア受け入れ団体として発足、糸井守(神田川ネットワーク)を代表として登録。以降武蔵野の自然や河川(井の頭公園、神田川、善福寺川、玉川上水等)を守る活動をしています。実例としては、炭焼き実験、身近な水環境の全国一斉調査、緑地保全の苗木植え、外来魚駆除調査など、ほぼ7年間にわたって行ってきました。本年4月に、環境省の子どもエコクラブに武蔵野エコクラブとして正式に登録し、新しく発足しました。当クラブの活動の場は井の頭公園を中心とし、緑に恵まれた地域でありこれを生かした自然観察、環境保全活動を今後も進めていきたいと考えています。具体的なプランとしては、身近な水環境の全国一斉調査(継続)、どんぐり畑の苗木を育て、緑を増やそう(どんぐりの会東京)、樹木の動きを知ろう、外来魚駆除調査生き物見つけ100万人の温暖化調べ等々、2～3ヶ月に1回は計画実施したいと思っています。
6	野島自然観察探見隊	132 うち 40人 程度	27	神奈川県横浜市	横浜の海岸線約134kmのうち唯一残された自然の砂浜「野島海岸」を中心に、毎月1泊2日の野外活動を実施しています。また、夏休みには、長野市戸隠高原での10日間キャンプや春休みのスキーキャンプなど、楽しみながら身近な自然を探見しています。また、今年は「沖縄 石垣島」でのキャンプも予定しています。
7	子どもエコクラブ オニオンクラブ	10	3	神奈川県小田原市	近所に住むお友達です。毎年、玉ねぎの植し・草取り・収穫をしていました。子どもエコクラブの存在をしり、クラブに登録しました。それ以来、水質検査、川のごみ調べ等を行っています。
8	美しき地球号 依知南環境守り隊	18	2	神奈川県厚木市	学校の総合の時間に環境を調べた事がきっかけで7年程前エコクラブに入りました。幼稚園から高校生までの団体で外での活動参加が多いのは部活のない小学生まで。時々中高生もフリーのフリーの時参加し学習活動しています。
9	Discover Nature	11	3	長野県長野市	クラブを始めて六年になります。紆余曲折?をして今は、植樹とふくろうの観察をしています。野鳥の会の方の指導の下、ペリットを観察したり、ふくろうの雛の足輪をつけるのを見せていただいたりしています。今年の五月にやっと念願のひなにあうことができました。今年はクラブのメンバーが作文で神戸のG8に参加したり、Jルウエーで行われた国連環境計画の子ども会議に参加したりして、地域と世界を考えることができました。今年も市の子ども会議では環境宣言を作成するつもりです。市長さんをお願いの項目も考えてしまうかも。
10	エコクラブJNW	13	5	岐阜県多治見市	愛知県自然観察指導員連絡協議会 尾張支部の定例自然観察会の一つ定光寺自然観察会が発足して13年目を迎える。観察地は尾張藩藩主徳川義直公の廟がある愛知県瀬戸市の定光寺周辺で、参加者は瀬戸市内および近隣市町村に及ぶ。定光寺自然観察会は子どもの目線で生き物を観察するため子どもの参加者が多い。そこで、参加者のリピーターを中心に4年前に子どもエコクラブにJNWとして参加するようになった。
11	Aichi Sea Green Map	10	5	愛知県名古屋市	2004年、愛・地球博愛知県館のグリーンマップ館に愛知県下で活動する海の環境団体の調査結果をまとめ、世界初の海のグリーンマップを作りました。南知多長谷崎を中心に活動しています。今年1月はなごや環境大学の講座で冬の名古屋港の観察会、7月の海の日には三河湾のスナメリウォッチングを予定しています。現在、名古屋市にある環境省藤前干潟活動センターで海の生き物のパネル展を開催しています。9月は名古屋環境学習センターのマンスリー企画を担当する予定です。

	団体名	人数		団体所在地	団体紹介
		参加者合計	大人		
12	山崎川グリーンマップ	45	20	愛知県名古屋市	2005年、愛・地球博が開催された年に地元の子ども会から誕生したNPOです。近くを流れる山崎川の中や周辺の生き物や環境を調べています。地元に残された小さな自然に親しむことで、自然環境や山、川、里、海、の流域全体へ関心を持ってもらいたいと考えています。毎年、春には川の周辺で環境地図であるグリーンマップ作り、夏には川の生き物調査、冬には渡り鳥調査をしています。6月14、15日は環境省と生物多様性誘致委員会主催のエコライフア - 2008に参加しました。7月はスペインサラゴサの水万博にパネルが展示されます。
13	もちはし推進ジュニア応援隊	8	3	愛知県名古屋市	「地域環境にやさしいモノ作り」をコンセプトに昨年度は、愛知県教育委員会の愛知県ジュニア応援隊事業で、愛知県の染(手書き友禅・有松鳴海絞り)ではし袋を作り、一人からでもできる「もちはし」の活動を行っています。さらに今年は無農薬で種まきから行う田んぼ体験もしています。
14	東広瀬環境レンジャー、東広瀬のグリーンレンジャー、東広瀬環境守り隊、いしがせ自然探検隊、4クラブ連合	60	3	愛知県豊田市	東広瀬小学校4、5、6年生がクラブ活動の中で地区の河川や里山の調査活動を行っている。東広瀬環境レンジャー。主に地区の河川の調査活動を行っている4年生の東広瀬グリーンレンジャー、里山の調査を行っている5年生のいしがせ自然探検隊、そして、地球環境について調査している6年生の東広瀬里山探検隊、4クラブの連合です。環境レンジャーといしがせ自然探検隊は昨年度に引き続いての応募です。昨年度は水生生物調査を中心に取り組みました。本年度もすでに広田川や小峯川、矢作川、室川に出かけ調査してきました。今までの調査でトビゲラ、ヤゴ、サワガニ、ヨシノボリなどの生き物を見つけました。
15	志摩市立立神小学4年生	19	1	三重県志摩市	小学校4年生全18名で、総合的な学習で「環境」をテーマにいろいろな体験をしています。自分たちで作った野菜をゴミを少なく料理することを考えたり、学校の近くの川や海へ生き物の観察に行っています。
16	大阪府立高津高等学校 生物研究部	16	3	大阪府大阪市	高津高校生物研究部は1976年に大阪城内濠でヒドラを発見したことから、調査を開始しました。隔週日曜日にプランクトン調査をしています。昨年度の特徴は、水質のpH低下が先か、オオアカウキクサの出現が先か、リン酸緩衝液を用いて実験したのですが、失敗したので、改良したいと考えています。また5月に環境省より、野生生物保護功労者賞:自然環境局長賞をいただきました。昨年からもエコクラブに参加し小中学生との交流を経験しました。これらの取り組みの重要性や興味深さを分かち合えることを希望しています。
17	もっちゃんず&たけちゃんず	7	3	兵庫県明石市	自然観察が大好きな2家族です。家族ごとですが、週末には海や山、川へ虫、鳥、魚の観察をしています。博物館へ行っての基礎学習もしています。今回初めて2グループ一緒に観察。
18	にこちゃんず	5	2	岡山県赤磐市	私たち にこちゃんずは家族5人のエコクラブです。自然観察を中心に活動しています。自然を大切にすることは、自然をよく知ることから始まると思い、各種観察会に参加しながら、自主活動を行っています。また、自然保護のボランティア活動にも参加しています。
19	さぬきこどもエコクラブ	5	2	香川県高松市	身近な自然を楽しみながら、自然の大切さや環境問題を自分のこととして考える心を育てたいと活動をしています。上は小学校4年生から、下は4才までの子供連を中心に荒削りですが無理のないよう自分達なりのペースで日々地道に活動しています。活動拠点は香川県高松市内で、近くを流れる春日川の生き物調査を始め、日山や屋島の植物や生き物観察、家庭で出来るエコの研究・実施や無農薬・無化学肥料での野菜や米、小麦作りに取り組んでいます。
20	善通寺こどもエコクラブ	10	2	香川県善通寺市	「地域の自然を知ろう!」と自然のしくみや人間の関わり方を学んでいます。山から海までの流域調査をしています。樹木の葉っぱ調べ「樹木医になろう」では樹木の枯損調査をしています。金倉川・弘田川については9年前からの継続調査をしています。受賞歴:第7回コカ・コーラ環境教育賞、平成15年度環境大臣賞環境保全功労賞、野生生物保護奨励賞、第17回「星空の街・青空の街」全国協議会長賞
21	生き物調査隊	8	1	福岡県粕屋郡	僕たちは、新宮東小学校5年3組の生き物係です。4月に自分たちで新しく作った係で、主に大好きな昆虫たちを捕獲して観察し、写真を撮ったり、新聞を作って、クラスのみんに紹介しています。
22	JEC リルレーグリーンクラブ2	4	1	長崎県長崎市	こどもエコクラブとして結成し、9年目のクラブです。自然観察や水質調査、あるいは自然の素材や廃品を利用したの工作活動などを行っています。
23	東植田探検隊	9	1	大分県大分市	近所の小学生を中心に、毎週土曜日の午後、身近な自然の中で遊んでいるグループです。子供同士の遊びの中から、お互いに考える力や自然とのふれあいの仕方を身につけていきます。今年の6月は大分市の環境フォーラムで活動の発表をしました。年末に壁新聞を作りながら、自然環境の大切さを共に学んでいます。